

# TAZMO®

第52期 年次報告書 2023年1月1日~2023年12月31日

Technology for People's Future

## 半導体製造装置を中心に業績拡大 更なる成長に向け業務改革



代表取締役社長 佐藤 泰之

- ・顧客ニーズの把握と求められる製品の開発
- ・継続した原価低減による利益率の向上

### ▶業績及び事業報告

2023年の当社グループが属する半導体業界におきましては、リモートワークの普及などに伴い増加していたスマートフォンやパソコン向けの半導体需要が減少し、メモリーやロジック半導体向けの設備投資が鈍化する動きが見られました。そのような状況のなか、タツモの主力製品であるパワー半導体向けの貼合装置及び剥離装置は、検収の時期が遅れることもありました。順調に売上を計上することができました。搬送装置につきましても、生産能力を増強したことにより計画を上回る売上を計上することができ、その結果、当社の主力セグメントでありますプロセス機器事業におきましては増収となりました。

### ▶中国子会社が完成

2022年7月に中国浙江省紹興市に設立しました、龍雲（紹興）半導体設備科技有限公司が、本格稼働に向け動き出しました。新型コロナウイルス感染症の影響で建設工事が中断するなど、設立当初の計画通りには進んでいませんでしたが、2023年10月に完成しました。完成までは営業活動が中心でしたが、今後はプロセス装置を搬入し、中国のお客様に対してのデモンストレーションや、お客様とのプロセス評価を進めてまいります。



金型・樹脂成形事業におきましては、スマートフォンやパソコン向けのコネクタの需要が減少したことにより減収となりました。表面処理用機器事業におきましては、車載用を中心とするプリント基板メーカーの設備投資が比較的堅調であったことから、増収となりました。以上のことから、2023年度の連結売上高は増収となりました。

利益面におきましては、利益率の高い半導体製造装置の売上が大きく伸びたことや、搬送ロボットなどの量産効果により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも増益となりました。

### ▶今年度の見通し

2024年度は、円安による材料費などの高騰や、長期化するウクライナや中東情勢などの懸念はありますが、AI向け半導体の設備投資が活況であり、それらに利用される半導体製造装置の受注も増えてくるものと思われまます。パワー半導体はSiC(炭化ケイ素)ウェーハ用の引き合いが増加傾向にありますし、メモリーやロジック半導体向けの設備投資も回復してくるものと思われまます。また、プリント基板メーカーの設備投資も回復してきており、今後も受注が増えてくるものと予想してあります。2023年度末の受注残高も

400億円に近い過去最高水準となっており、生産の方法を考え、少しでも利益を伸ばせるよう原価低減を進めるとともに、積極的な設備投資を確実に受注につなげ、売上・利益を伸ばしてまいります。

### ▶株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

半導体業界の好調により、2023年度も過去最高の売上・利益を計上することができました。パワー半導体向けの貼合装置及び剥離装置をはじめ、アドバンスド・パッケージ向け装置の受注も増加してきており、2024年度の業績予想も前年度を大きく上回るものとなっております。今後は、更なる業績拡大のため新製品の開発を進め、早期に市場へ投入できるよう注力しますとともに、人材育成や業務の効率化など会社が成長するよう努めてまいります。

今後とも、株主の皆さまのより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 事業の概況

## ▶ 2023年度 連結業績

当連結会計年度における経営環境は、社会が新型コロナウイルス感染症との共存を図る中で経済活動の正常化が進んだ一方、地政学リスクの高まり、原材料の高騰や不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、パワー半導体向けの貼合装置及び剥離装置の引き合いは強いものの、リモートワークの普及などに伴い増加していたスマートフォンやパソコン向けの半導体需要が減少し、設備投資が鈍化する動きが見られました。このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は281億61百万円（前期比15.6%増）となりました。利益面では、利益率の高い装置が売上計上されたことや、原価低減活動の効果により、営業利益36億54百万円（前期比30.2%増）、経常利益38億90百万円（前期比23.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益23億56百万円（前期比4.1%増）となりました。

## 2023年度 連結業績

	2023年度 当連結会計年度 自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日	ご参考	
		前連結会計年度 自 2022年 1月 1日 至 2022年12月31日	対前期 増減率
売上高	28,161 百万円	24,356 百万円	15.6%増
営業利益	3,654 百万円	2,806 百万円	30.2%増
経常利益	3,890 百万円	3,138 百万円	23.9%増
親会社株主に帰属する当期純利益	2,356 百万円	2,263 百万円	4.1%増

## ▶ セグメント別概況

### プロセス機器事業

#### 半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、パワー半導体向け装置の需要が堅調であり、売上高は67億73百万円（前期比12.9%増）となりました。

#### 搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、生産効率の改善により、売上高は79億36百万円（前期比11.2%増）となりました。

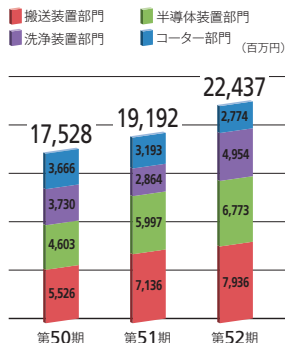
#### 洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、装置の検収遅れはあるものの概ね計画通りに進み、売上高は49億54百万円（前期比72.9%増）となりました。

#### コーター部門

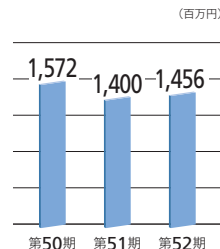
コーター部門につきましては、フラットパネルディスプレイ関連のメーカーによる設備投資が鈍化していることから、売上高は27億74百万円（前期比13.1%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は224億37百万円（前期比16.9%増）、営業利益37億15百万円（前期比41.0%増）となりました。



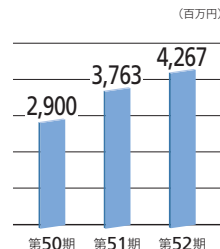
### 金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、コネクタメーカーの在庫調整が長引いており、売上高は14億56百万円（前期比4.0%増）、営業損失29百万円（前期は11百万円の営業利益）となりました。



### 表面処理用機器事業

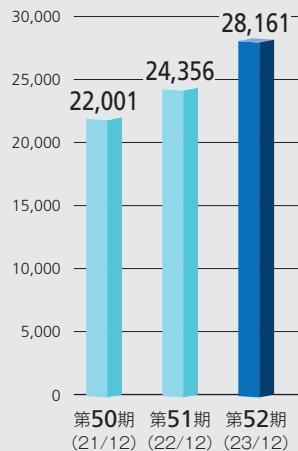
表面処理用機器事業につきましては、利益率の低い装置の売上が多かったことから、売上高は42億67百万円（前期比13.4%増）、営業損失22百万円（前期は1億75百万円の営業利益）となりました。



# 財務ハイライト(連結)

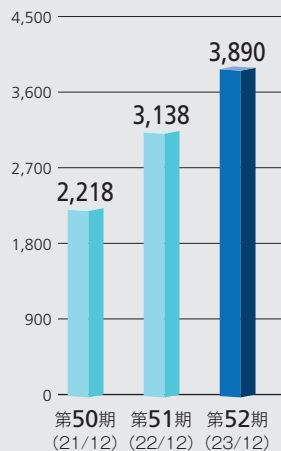
## 売上高

(単位:百万円)



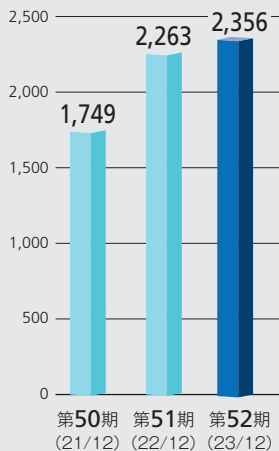
## 経常利益

(単位:百万円)



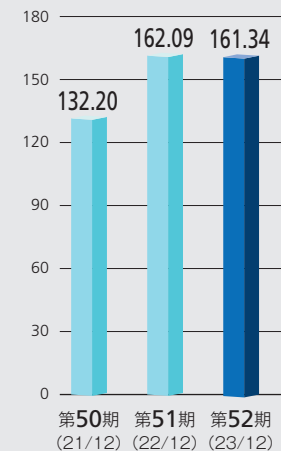
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



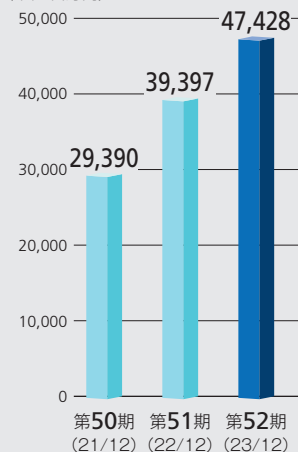
## 1株当たり当期純利益

(単位:円)



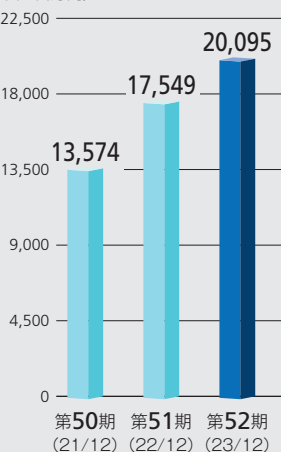
## 総資産

(単位:百万円)



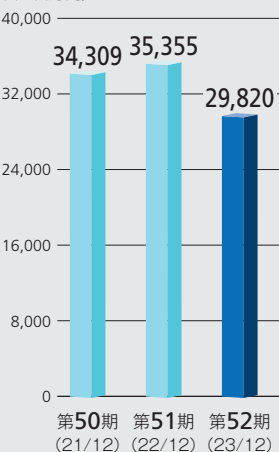
## 純資産

(単位:百万円)



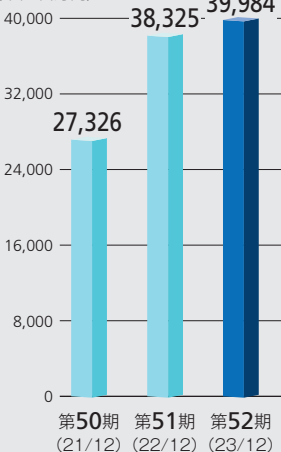
## 受注高

(単位:百万円)



## 受注残高

(単位:百万円)



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計 年度末 (2022年12月31日)	当連結会計 年度末 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	31,905	39,420
固定資産	7,491	8,008
<b>資産合計</b>	<b>39,397</b>	<b>47,428</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	18,463	21,380
固定負債	3,384	5,952
<b>負債合計</b>	<b>21,847</b>	<b>27,333</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,643	18,857
資本金	3,495	3,556
資本剰余金	3,430	3,415
利益剰余金	10,151	12,197
自己株式	△ 434	△ 311
その他の包括利益累計額	642	909
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	641	909
非支配株主持分	263	327
<b>純資産合計</b>	<b>17,549</b>	<b>20,095</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>39,397</b>	<b>47,428</b>

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自2022年 1月 1日 至2022年12月31日)	当連結会計年度 (自2023年 1月 1日 至2023年12月31日)
売上高	24,356	28,161
売上原価	17,028	19,603
売上総利益	7,328	8,558
販売費及び一般管理費	4,521	4,903
営業利益	2,806	3,654
営業外収益	387	307
営業外費用	54	71
経常利益	3,138	3,890
特別利益	64	11
特別損失	—	351
税金等調整前当期純利益	3,203	3,549
法人税、住民税及び事業税	643	1,321
法人税等調整額	263	△ 184
当期純利益	2,296	2,413
非支配株主に帰属する当期純利益	33	56
親会社株主に帰属する当期純利益	2,263	2,356

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 会社概要&株式情報

## ▶ 会社概要 (2023年12月31日現在)

商号 タツモ株式会社  
 本社所在地 〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地  
 設立 1972年2月  
 資本金 3,556,896,587円  
 事業内容 半導体製造装置、搬送ロボット、液晶製造装置、プリント基板めっき装置、精密金型及び樹脂成形品などの開発・製造・販売  
 従業員数 382名(連結1,141名)  
 営業所・工場及び支店 第1工場・第3工場・第5工場／東京営業所  
 子会社 プレテック株式会社  
 TAZMO INC.  
 上海龍雲精密機械有限公司  
 TAZMO VIETNAM CO.,LTD.  
 龍雲亞普恩科技股份有限公司  
 龍雲阿普理夏電子科技(上海)有限公司  
 株式会社ファンリディ  
 富萊得(香港)有限公司  
 富萊得科技(東莞)有限公司  
 FACILITY HANOI CO.,LTD.  
 株式会社クオークテクノロジー  
 龍雲(紹興)半導体設備科技有限公司

主要取引銀行 株式会社中国銀行  
 株式会社みずほ銀行  
 株式会社三菱UFJ銀行  
 株式会社商工組合中央金庫

## ▶ 取締役 (2024年3月27日現在)

代表取締役会長	池田俊夫
代表取締役社長	佐藤泰之
常務取締役	曾根康博
取締役	吉國久雄
社外取締役	勇木伸子
社外取締役 (監査等委員会委員長)	岡友和
社外取締役 (監査等委員)	藤原準三
社外取締役 (監査等委員)	石井克典

## ▶ 株式の状況 (2023年12月31日現在)

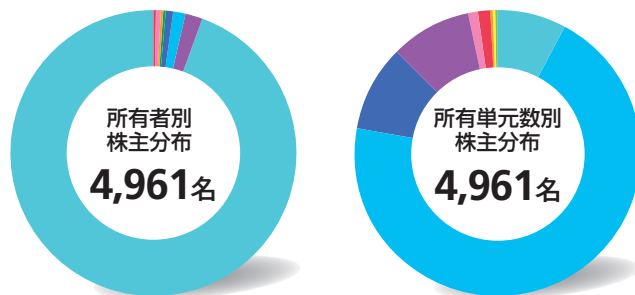
### 株式の総数

発行可能株式総数…………… 40,800,000株  
 発行済株式の総数…………… 14,836,691株  
 株主数…………… 4,961名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	2,235,000 株	15.06 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,476,200	9.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	798,400	5.38
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	549,100	3.70
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	534,788	3.60
弘塑科技股份有限公司	500,000	3.37
JP MORGAN CHASE BANK 380684	465,400	3.13
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATIONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENT : CLIENT OMNI OM25	387,000	2.60
中銀リース株式会社	304,500	2.05
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	300,000	2.02

(注) 1. 持株比率は自己株式数(1,837株)を控除して算出しております。  
 2. 自己株式には従業員株式給付信託(J-ESOP)の導入に際して設定した、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式194,400株を含んでおりませんが、連結財務諸表においては自己株式として処理しております。



政府・地方公共団体……………	0名	1 単元未満……………	388名
銀行……………	2名	1 単元以上……………	3,483名
信託銀行……………	9名	5 単元以上……………	474名
生命保険会社……………	4名	10 単元以上……………	460名
損害保険会社……………	0名	50 単元以上……………	47名
その他金融機関……………	1名	100 単元以上……………	70名
金融商品取引業者……………	41名	500 単元以上……………	16名
その他法人……………	56名	1,000 単元以上……………	17名
外国法人等……………	129名	5,000 単元以上……………	6名
個人・その他……………	4,719名		

\*自己株式は個人・その他に含めて記載しております。

\*自己株式1,837株は10単元以上に含めて記載しております。

